

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公表番号】特表2017-503876(P2017-503876A)

【公表日】平成29年2月2日(2017.2.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-005

【出願番号】特願2016-539988(P2016-539988)

【国際特許分類】

C 09 J 201/02 (2006.01)

C 09 J 11/06 (2006.01)

C 09 J 11/08 (2006.01)

C 09 J 11/04 (2006.01)

【F I】

C 09 J 201/02

C 09 J 11/06

C 09 J 11/08

C 09 J 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月4日(2017.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

固体熱可塑性半結晶性摩擦活性化接着剤組成物であって、

(a) 約50～約100重量部の半結晶性接着剤ポリマーと、

(b) 0～約50重量部の少なくとも1種類の粘着付与剤と、

(c) 0～約50重量部の少なくとも1種類の結晶性添加剤と、

(d) 0～約50重量部の少なくとも1種類の充填剤と、

(e) 0～約30重量部の少なくとも1種類の油と、

(f) 0～約50重量部の少なくとも1種類の界面活性剤と、の混合物を含み、

前記半結晶性接着剤ポリマーが、

(1) 接着剤ポリマー100重量部当たり、約5～約96重量部の、炭素原子が少なくとも16個のアルキル炭素長を有する少なくとも1種類の結晶性モノマーと、

(2) 接着剤ポリマー100重量部当たり、約4～約70重量部の、約80未満の水溶性モノマーTgを有する少なくとも1種類の非結晶性モノマーと、

(3) 接着剤ポリマー100重量部当たり、0～約70重量部の、炭素原子が少なくとも14個の平均のペンドントアルキル炭素長を有する少なくとも1種類のワックス状軟質モノマーと、

(4) 接着剤ポリマー100重量部当たり、0～約10重量部の、酸又は塩基官能基を有する少なくとも1種類のモノマーと、

(5) 接着剤ポリマー100重量部当たり、0～約40重量部の、約35～約120のTmを有する少なくとも1種類の官能性又は非官能性マクロマーと、を含む、接着剤組成物。

【請求項2】

前記接着剤が接着剤クレヨンとして成形されている、請求項1に記載の接着剤組成物を

含み、

剥離可能な包装材をさらに含む、接着剤塗布装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の接着剤組成物を使用する方法であって、

( a ) 請求項 1 に記載の接着剤組成物を感圧接着剤の塊に成形する工程と、

( b ) 前記感圧接着剤の塊を基材上に摩擦を介して擦りつける工程と、を含み、

前記摩擦を介して擦りつける工程によって、前記基材上に粘着性の接着剤の付着物が形成される、方法。